

東郷町議会議長 箕浦 克巳 殿

東郷町議会議員

議席番号 8 番 氏名 若松 孝行



一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1. 本町の認知症高齢者の現状と「新オレンジプラン」について	<p>現在、わが国の65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症の人又はその予備軍とされています。認知症高齢者の数は、2012年で462万人、高齢者の約7人に1人と推定されています。2025年には約700万人となり高齢者の5人に1人に達することが見込まれています。</p> <p>(1) 本町の認知症の現状について</p> <p>①本町の65歳以上の高齢者の人数と高齢化率は</p> <p>②高齢化率の最も高い地区(3地区)及び低い地区(1地区)はどこか。それぞれ何パーセントか</p> <p>③本町では認知症の早期発見・早期治療に対して、現在どのような対策を講じているか</p> <p>④特に高齢化率の高い地区に対して町として、どのような対策を講じているか</p> <p>⑤その結果どのような効果があったか</p> <p>⑥本町の介護認定者数は</p> <p>⑦その内、施設入所者及び在宅介護者の数は何人か</p> <p>⑧入所を選んだ理由及び在宅を選択した理由は何か</p> <p>⑨施設入所待機者の人数は</p> <p>⑩待機期間はどの位か</p> <p>⑪入所待機中の人に対し本町では、どのような対策や対応を講じているか</p> <p>⑫愛厚ホームとの関係は</p> <p>⑬家族会支援の状況は</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2. 「老人憩の家」について</p>	<p>⑭徘徊高齢者見守りネットワークの利用者数とその成果は</p> <p>(2) 厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え昨年2015年1月27日新たに「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(「新オレンジプラン」)を策定した。2018年度からはすべての市町村で実施とのこと。 「新オレンジプラン」は認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくため、7つの柱に沿って施策を総合的に推進していきます。</p> <p>①「新オレンジプラン」の7つの柱について本町ではどのように対応し推進するのか ②7つの柱のうち本町ではどれが1番難題か、又その理由は ③本町の進捗状況は</p> <p>東郷町老人憩の家は、高齢者相互のふれあい交流や、いきがい・健康づくりを支援する施設で陶芸用設備やカラオケ機器などが整備されている。地区老人クラブ会員同士の交流の場として、また陶芸やカラオケなどの高齢者のレクリエーションの場として利用されている。その他、避難場所にもなっている。</p> <p>(1) 年間利用者数は (2) 施設の耐震状況 ①いつ建てられたか 築何年、敷地面積、建物面積、収容定員数 ②耐震診断はいつ行われたか ③その結果は (3) 今後の計画について ①老人クラブなどの利用者から耐震補強や、改築などの要望の声は出ているか ②もし出ているなら、どのような回答がなされているか ③なぜ今日まで現状のままなのか理由は ④いつまで、この状態が続くのか ⑤将来は、どのようにするのか計画を聞かせて欲しい</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること